



地域で見守る（高齢者の行方不明事案の防止）

県内では、認知症が原因で高齢者が行方不明となる事案が多くなっています。

早期に発見・保護・身元確認ができるように、以下の事項についてご協力をお願いします。

- ・認知症を恥と思わず、隠さず、近所の人に知ってもらい、地域で見守り支え合いましょう。
- ・身に着けるものや持ち物に住所・氏名・電話番号を書いておきましょう。
 着衣・靴・手帳・杖などへの記名
 名札の装着（胸につけると、本人がはずしてしまうことがあるので、襟の裏など、本人には見えないところへの取り付けが効果的です。）
- ・普段から、本人の服装や持ち物を確認する習慣をつけておきましょう。
- ・事前に顔写真を撮っておくと、いざという時に役立ちます。
- ・玄関や出入り口に、鈴などの音のするものをつけておきましょう。
- ・GPS機能付きの携帯電話などを携行させましょう。

※ご家庭で、高齢者や認知症の方の所在が分からなくなった場合、迷わず、速やかに最寄りの警察にご連絡ください。（暗くなってからの検索は困難です。）

※緊急の場合は 110 番をお願いします。



災害に備えましょう



▲準備しておくの良いものの一例

3月11日は東日本大震災が発生した日です

平成 23 年 3 月 11 日に太平洋三陸沖で発生した東日本大震災から 6 年が経過しました。この地方においても東海地震、東南海地震、南海地震がいつ発生しても不思議ではないと言われており、さらにこの 3 つの地震が連動して起きる「南海トラフ地震」の可能性が指摘されています。

震度 7 では、這わないと動くことができない、固定していない家具のほとんどが移動、倒れたりする、耐震性の低い木造建物は、傾いたり倒れたりします。

いざという時に慌てないよう、前もって防災グッズの準備をしておきましょう。

過去の大地震と今後発生すると予測される地震

発生前年	地震名	最大震度	マグニチュード	死者・行方不明者
1891 年 10 月	濃尾大震災	7	8.0	約 7,300 人
1923 年 9 月	関東大震災	6	7.0	約 10 万 6,000 人
1995 年 1 月	阪神・淡路大震災	7	7.3	約 6,500 人
2011 年 3 月	東日本大震災	7	9.0	約 1 万 9,000 人
	南海トラフ地震	7 (予想)	9.0 以上 (予想)	約 32 万人 (予想)